

金城大生とびんころ男会が初披露

高齢者「ふれあいサロン」で演奏会

仲間や生きがいづくりなどで高齢者が集う「ふれあいサロン」会場の一つ、アーバンフレ小幡集会所

小幡太田で先月二十日、金城学院大学大森二の学生が歌声を披露するといった演奏会が開かれた。

高齢者を対象とした同サロンは区内に七十一カ所あり、民生委員をはじめ地域の人らが運営。健康体操やお茶を飲みながらのおしゃ

べりなど、交流を楽しむ場として設けられている。演奏会は、同サロンでの催しを提案・提供している区社会福祉協議会が金城学院大学に協力を求め、実現したもの。能勢健司准教授に学ぶ文学部音楽芸術学科の学生四人が出演した。

ピアノの伴奏に合わせ、「花」や「荒城の月」などなじみある曲が次々と演奏され、五十人ほどが集まった客席からは大きな拍手。

うなずくように首を動かしてリズムを取ったり、透き通る歌声に涙を流す人の姿も見られた。また、自分たちのやりたいことをして元気に過ごそうとする高齢男性の集まり「びんころ男会」有志十人も登場。昨年六月に結成、ハーモニカで童謡や唱歌を奏でる「びんころおやじバンド」として練習の成果を初めて人前で披露した。



学生たちの歌声に来場者は聞き入っていた。また、自分たちのやりたいことをして元気に過ごそうとする高齢男性の集まり「びんころ男会」有志十人も登場。昨年六月に結成、ハーモニカで童謡や唱歌を奏でる「びんころおやじバンド」として練習の成果を初めて人前で披露した。